

背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位	本年度の目標値	本年度の実績値
地域学校支援本部から学校協働本部へと移行したが、移行直後にコロナ禍が発生し、十分な学校協働活動に取り組めず、地域ボランティア（推進員も含む）及び学校教職員の協働活動への理解・重要性の認識が浸透していない。	本年度も推進員向けの研修・情報交換会を複数回（年度の初め頃と年度末頃）に開催して、一年間の活動への参考や振り返りの機会を設けて各本部の活動を充実させる。また、教職員に対しては夏季休業期間等にオンラインでの教職員向けの研修を実施して、学校側の協働活動への理解を深めるようにする。	本年度も推進員向けの研修・情報交換会を複数回（年度の初め頃と年度末頃）に開催して、一年間の活動への参考や振り返りの機会を設けて各本部の活動を充実させる。また、教職員に対しては夏季休業期間等にオンラインでの教職員向けの研修を実施して、学校側の協働活動への理解を深めるようにする。	地域ボランティア及び教職員の地域学校協働活動についての理解が進み、地域と学校が連携・協働した活動が実施される。	推進員へ対してアンケートを実施して、研修・情報交換会が活動に寄与したとこたえる人数の割合	57	%	65	66
塾等へ通うのが難しい、市内でも交通の便が悪い地区の小学校1校で放課後等の体験・学習活動が行われ、放課後に地域の子どもへの学習習慣の定着に努めている。	参加している子どもたちの学習習慣の定着、特に放課後子ども教室のあとの時間も自分で学ぶ習慣を身につけさせるようにする。	地域コミュニティ組織がサポートして、放課後の子どもの学習状況の定着のため、放課後子ども教室を実施した。	家庭での学習習慣が身についている子どもが増加する。	参加している子どもを対象にしてアンケートを実施し、放課後子ども教室時間外での学習時間が30分以上増えたと回答した子どもの割合	50	%	60	36